

みなとが変わると日本が変わる～21世紀の活力はみなとから～

港湾空港ニュース香川

—高松港湾・空港整備事務所だより—

2014

1

月号

<No.183>

CONTENTS

- 石のシンポジウム開催
- 防災訓練
- 特集 瀬戸芸 ～豊島・小豆島閉幕後鑑賞可能作品紹介～
- コンテナ定期便が就航
- 高松ー成田線 LCC就航



国土交通省 四国地方整備局
高松港湾・空港整備事務所



ジェットスター・ジャパン 12月10日 高松ー成田線就航

瀬戸内の原風景と公共交通

新年、あけましておめでとうございます。昨年、こちらに赴任してからちょうど一年がたちました。

かつて運輸局に在籍していた頃公共交通でのくらしい観光地を回るのが実践していたのですが、四国でも随分公共交通だけで観光地を回りました。香川は瀬戸内国際芸術祭もあり、結構にぎわいましたよね。

私は、この秋、公共交通だけで寒霞溪、剣山、大窪寺などに行ってきましたが、自家用車なしでも結構回れるものです。運転に注意する必要があるのですが、車窓を楽しんだりお酒も飲めたりというのが可能なのが公共交通による旅行なのです。

私はかつて小笠原やらトカラ列島やら樺太やら釜山まで船で行ったこともありましたが、船旅は、時間の流れ方がゆっくりしていて風景を眺め酒を飲みながら夜になつたら寝る。そういう世界なのでクルーズは派手な

船旅とかわれていますが、最近では、ローコストなクルーズ船も紹介されるようになってきたと思います。

瀬戸内海は普通にフェリーで船旅ができる地域です。外洋と違って海が荒れることも少なく船旅がどういふものかを知ることができなのが瀬戸内海航路なのです。フェリーじゃなくても小さな旅客船でも楽しい旅ができます。島々には古い町並みを残すところも多く、日本の原風景を残しています。

日本の離島は出生率が高い沖縄や観光で注目を浴びる屋久島などを除き、多くが過疎化しています。

瀬戸内国際芸術祭の時期だけでなく離島を訪れることにより離島の足である公共交通を守り離島の風景を保全することが可能と考えます。

高松港湾・空港整備事務所長

久米 英輝



石のシンポジウム開催

平成二十五年十月二十日(日)、小豆島の「みなとオアシス 大坂城残石記念公園」において、「石の未来シンポジウム」が開催されました。

本シンポジウムは、七月に開催された「大坂城築造残石里帰りフェスティバル」の際、大阪から運搬した残石(大坂城築城時に小豆島から運ばれたが使用されなかったもの)を、公園内の展示物とした除幕式に併せ、当時の運搬方法である修羅曳きによる石の運搬再現や、講演などが行われたものです。講演では、高松塚古墳



▲修羅曳きの様子



▲北浦の太鼓祭り

石室解体やモアイ像の復元に携わってきた佐野勝司氏からは「石」と「世界遺産」や、瀬戸内の石切丁場や大坂城の石垣・小豆島石などについて、また瀬戸内国際芸術祭で総合ディレクターを務めた北川フラム氏から、瀬戸内海とアートおよび小豆島についての、興味深い話を聞くことが出来ました。当日はあいにくの雨でしたが、途中からは雨も上がり、勇壮な北浦の太鼓祭りでも締めくくられました。

(企画調整課 石本)



▲北川フラム氏による講演



▲除幕された大坂城里がえり太閤石

十二月四日(水)、南海トラフ巨大地震を想定した総合防災訓練を当事務所を含め四国地方整備局管内で行いました。

訓練は東日本大震災の教訓を踏まえ、①担当する職員一人ひとりの災害対応力向上、②防災業務計画等の脆弱点や課題の発見による継続的な改善

③防災関係機関相互の連携強化を目的に実施しました。

巨大地震及び津波による被災時には地域住民への支援となる緊急物資を一括も早く搬入できる体制が求められます。船による大量の物資の搬入を行うためには、第一に港内に流入沈降しているガレキの処理を行い(航路啓開)、同時に岸壁自体が使用できるような、応急復旧工事を行います。当事務所は被災直後より、これらの初動活動を行える体制作りに取り組んでおります。

訓練では、広域被害のため限られた資機材調達の条件で、船が通る航路の啓開作業及び接岸できる岸壁の応急復旧工事の検

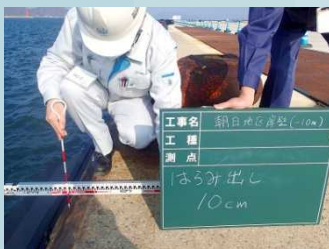
防災訓練

討演習(啓開区間、優先順位等)、また太平洋側(被害大)を瀬戸内海側の訓練を行いました。

訓練で見つかった防災業務計画の課題の改善に取り組み、さらなる防災力の向上に取り組んでまいります。

(沿岸防災 中川)

▼高松港湾空港災害対策支部の様子



▲岸壁の施設点検の様子

特集 瀬戸芸

豊島・小豆島閉幕後鑑賞可能作品

春、夏、秋と会期ごとに作品や瀬戸内の季節の移り変わりを楽しめる瀬戸芸が終わりました。ここでは、まだ瀬戸芸の余韻を感じることができ、現在も鑑賞可能な作品を紹介します。まだ観てないという方もぜひ行ってみて下さい。

E40 国境を越えて・海



浜辺に流れ着いた木の実をモチーフにした作品。遠くからでもよく見え、近づくともっとリアルな存在感が漂ってくる。中に銅鑼（どら）が設置されており、異国の雰囲気。銅鑼を叩くと音が反響し心地いい余韻を楽しめます。



民家を改修してつくられた美術館。部屋の床が透明で、庭から続く池に泳ぐ魚の姿が足下に見える斬新な設計です。大きな煙突の中も鑑賞できます。



18 豊島横尾館

床から湧き出した水が高低差のあるドームの中を進み、一滴一滴がくっついていたり離れたりする様子。静寂の中に水の流れるを感じる美術館です。

25 豊島美術館



“どこにもある近所の公園”にあって、子どもも大人も楽しめる作品。豊島の形をしたボードにたくさんゴール。どこにシュートしようか迷ってしまう、そんな遊び心いっぱいのアートです。



26 勝者はいない - マルチ・バスケットボール -



58 太陽の贈り物

オリブの葉を組んだ王冠の形をした作品。葉には島の子どものメッセージが刻まれ、海の見守るよう海に向かって立っています。ぜひ近くに行くと、葉の一枚一枚に込められた願いを読んでみて下さい。



65 ぶんぶんぶん

思い出の品もアートに。食器や花瓶を集めて、「金つぎ」という修復技法を模して作られた作品。どんぶりや急須、とっくりを使って人の身長と同じくらいの高さまで積み上げています。

85 オリブのプレゼント



坂道を上った先にあるオリブ畑にプレゼントが眩しい「強さ」や「若さ」を感じる作品。オリブとプレゼント。全く異質の組み合わせが不思議と調和しています。



イベント情報

残石ふるさと市

日時 | 4月下旬から5月上旬頃
 場所 | みなとオアシス大坂城残石記念公園内
 お問い合わせ先 | 土庄町企画課
 TEL0879-62-7014

5万トン級岸壁(サンポート高松)

入出港予定

診療船 「済生丸」 190トン

入港 1月27日(月) 13時00分

出港 1月27日(月) 16時00分

◆ドラマのモチーフにもなった話題の診療船です

練習船 「大成丸」 5,886トン

入港 2月13日(木) 時間未定

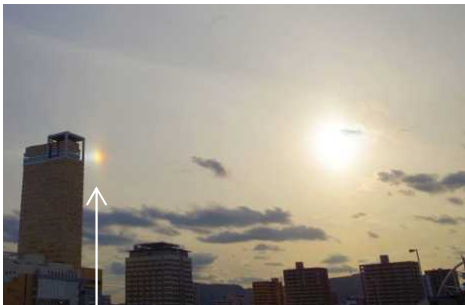
出港 2月17日(月) 時間未定

【※ご注意ください】

船の入出港時には、網取用の銃(もやい銃)が放たれる等、大変危険且つ作業の支障となりますので、岸壁付近には近づかないようお願い致します。また、入出港日、時刻はあくまで予定で、前後又は変更する場合があります。

うまげな写真館

～謎の光の正体とは！？～



シンボルタワーのすぐ隣に見えるのが「幻日(げんじつ)」です。これは、六角板状の氷の結晶が水平に近い角度で浮いており、かつ太陽高度がある程度低い時に見られる現象です。

コンテナ定期便が就航

～高松ー中国、フィリピン～



高松港外貿コンテナ4航路目(週6便目)となる中国、フィリピンを結ぶ新航路が開設され、11月15日(金)に歓迎セレモニーが開かれました。関係者が見守るなか、たくさんのコンテナを積んだ第一便が到着し、テープカットや花束贈呈を行うなど、就航を祝いました。この新航路は金曜日に高松港を出港し、上海などに寄港し約



10日間でマニラに到着する予定です。高松港が四国の物流拠点として、より一層発展することが期待されます。(企画調整課 池畑)

高松ー成田線 LCC就航



12月10日(火)、高松空港においてジェットスター・ジャパンによる高松ー成田線の運航開始を記念して、鈴木みゆき社長や浜田知事他、多数の来賓を招いた就航記念式典が行われました。

格安航空会社(LCC)による高松からの国内線就航は初めてのことであり、四国への就航でも松山空港について2カ所目となります。

当日の式典では来賓からの挨拶につづき、うどんの器から「祝★高松就航」と書かれた帯を掲げて就航を祝いました。高松ー成田線は朝と夕方1日2往復の就航で、今後は成田から国際線に乗り継いだり単身赴任者や学生などの需要が見込まれます。

(企画調整課 石本)



●高松港湾・空港整備事務所

〒760-0011
 高松市浜ノ町7番9号
 TEL087-851-5522
 FAX087-826-1210

●坂出港分室

〒762-0002
 坂出市入船町1-5-26
 TEL0877-46-0311
 FAX0877-45-4689



国土交通省・四国地方整備局
 高松港湾・空港整備事務所

【ホームページアドレス】

<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/takamatsu/>

お気軽にアクセスしてください♪
 皆さんからのお便りもお待ちしています。

『海とみなとの相談窓口』全国共通フリーダイヤル

おーいによくなれみなと
0120-497-370

受付時間* : 9:30~12:00と13:00~17:00
 (土・日・祝祭日・年末年始を除く) *一部の地域を除きます。